

研究業績一覧 (2013年)

秋山 憲治 (アキヤマ ケンジ)

1 学会・シンポジウム

(1) 報告

「TPP の進展とアジアへの影響」モンゴル国際交流学術研究大会 (2013年 9 月 3 日、モンゴル・ウランバートル、モンゴル文化教育大学)

(2) 座長、司会、コメンテータ

座長：第 1 分科会 (柯麗華報告、石井栄治報告) アジア市場経済学会第17回全国大会 (2013 年 6 月29日、明治大学)

コメンテータ：石原伸志報告：アジア市場経済学会第17回全国大会 (2013年 6 月30日、明治大学)

司会・コメンテータ：濱沖典之報告：モンゴル国際交流学術研究大会 (2013年 9 月 3 日、モンゴル・ウランバートル、モンゴル文化教育大学)

座長：セッション 2 (経済連携・経済外交の行方) 報告者：寺田貴 (同志社大学)、キティ・プラストスック (タイ・タマサート大学)、金日植 (光云大学)、神奈川大学アジア研究センター開設記念シンポジウム (2013年12月 6 日、神奈川大学)

2 講演

「東アジアの経済連携について—TPP 交渉参加をめぐって—」宮陵会三浦半島支部新年会 (2013年 2 月 2 日)

「アベノミックスと TPP 参加について」市民の会 (2013年 6 月16日)、宮陵会大阪支部総会 (2013年 6 月22日)、宮陵会京滋支部総会 (2013年 6 月23日)

3 その他

エッセイ「アジア研究センター創設に際して」神奈川大学アジア研究センター創設記念講演会冊子、2013年 9 月 7 日 (神奈川大学同学会大連宮陵会)

報告サマリー「TPP (環太平洋パートナーシップ協定) の進展とアジアへの影響」モンゴル国際交流学術研究大会 (2013年 9 月 3 日、モンゴル・ウランバートル、モンゴル文化教育大学)

阿久津 一恵（アクツ カズエ）

1 その他

シンポジウム パネル発表

「グローバル人材育成と学校教育現場での取り組み」『英語展望』No.120、英語教育協議会、2013年1月、42-49ページ

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 論文

“Predicting Business Cycle Phases by Professional Forecasters—Are They Useful?” ESRI Discussion Paper Series No. 305、16頁、内閣府経済社会総合研究所、2013年10月

““Abenomics” to Date & Going Forward” Economy, Culture & History JAPAN SPOTLIGHT Bimonthly 2013年9／10月号 pp.17-20、国際経済交流財団

「マクロ計量モデルによる ICT 投資増加のシミュレーションと乗数効果の計測」、『InfoCom REVIEW』第60号、pp.72-89、情報通信総合研究所、2013年7月（篠崎彰彦氏、久保田茂裕氏との共著）

2 学会発表

「経済予測：その実践と評価」景気循環学会・中原奨励賞受賞記念講演、2013年11月9日

「ICT 投資に注目したマクロモデルの構築とその乗数効果」第7回 ICT 経済研究ワークショップ（九州大学）、2013年10月22日

「政府の経済見通しは、相変わらず「使えない」か？」2013年度統計関連学会連合大会（大阪大学）、2013年9月9日

「政府の経済見通しは、相変わらず「使えない」か？」研究集会「計量経済分析の最近の展開」（長崎県立大学）、2013年8月18日

“Predicting economic turning points by professional forecasters—Are they useful?” International Symposium on Forecasting 2013 in Seoul、2013年6月24日

“Predicting economic turning points by professional forecasters—Are they useful?” ESRI—JCER 国際カンファレンス「経済予測の精度と活用への課題」、2013年2月21日

3 講演等

「“アベノミクス” 1年、その回顧と展望」第75回神奈川大学産学交流フロンティアサロン、2013年11月20日

「経済・金融統計の見方2」平成25年度統計研修課程・本科(115期)、総務省統計研修所、2013年11月1日

「各種経済指標の見方・使い方」2013年度経済分析基礎研修、経済産業省、2013年9月25日

「アベノミクスと日本経済」第61回子午線の集い、神奈川大学宮陵会兵庫県支部、2013年7月14日

「アベノミクスの今後」日本玩具協会役員研修会（軽井沢）、2013年7月5日

4 その他（エッセイなど）

「日本の成長戦略を考える」神奈川新聞・経済面・「Research」、2013年8月19日
産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「人事に役立つ経済データの読み方」

- GDP 成長率、「確報」で大変わり（2013年1月5日・20日号）
- どこまで進む？円安ドル高（2013年2月20日号）
- 政府の2.5%成長見通しは過大か？（2013年3月20日号）
- 鉱工業生産、“リーマン前”回復は遠く（2013年4月20日号）
- データでみるアベノミクスとその行方（2013年5月20日号）
- 誰が消費を増やしているのか？（2013年6月20日号）
- 労働力人口が増加基調に～高齢化問題はどこに？（2013年8月20日号）
- “街角景気”に変調か？～景気ウオッチャー調査を読む（2013年9月20日号）
- 続・誰が消費を増やしているのか？一資産効果をみる（2013年10月20日号）
- 動き出した？「第2の矢」—公共工事関連指標をみる（2013年11月20日号）
- アベノミクスが所得に波及？—賃金関連統計をみる（2013年12月20日号）

大滝 英生（オオタキ エイセイ）

1 論文

“A note on the existence and uniqueness of stationary monetary equilibrium in a stochastic OLG model,” *Macroeconomic Dynamics*, accepted (October, 2013)

“Idiosyncratic risks, self-insurance, and stochastic bubbles,” *Economics Letters* 118 (March, 2013), 429-430.

“Golden rule optimality in stochastic OLG models,” *Mathematical Social Sciences* 65 (March, 2013), 60-66.

2 研究報告

“Optimality in a stochastic OLG model with ambiguity,” (with H.Ozaki) 第16回経済理論・政策ワークショップ（於：青山学院大学）、2013年11月23日

“Nominal idiosyncratic shocks and optimal monetary policy,” 日本金融学会2013年度秋季大会（於：名古屋大学）、2013年9月22日

3 研究助成

「不確実下での最適な世代間資源配分についての研究」公益財団法人野村財団 2013年度研究助成（平成24～26年）

「拡張的金融政策のミクロ的基礎付けに関する研究」公益財団法人全国銀行学術研究振興財団 2013年度研究助成（平成24～25年）

岡村 勝義（オカムラ カツヨシ）

1 共著

『非営利組織の会計・業績および税務—理論・実務・制度の見地から—』（共著）関東学院大学出版会、2013年1月

『日本及び諸外国における非営利法人制度に関する研究—制度史・制度設計・報告制度・税制度等を中心にして—（最終報告書）』（共著）非営利法人研究学会、2013年9月

2 論文

「一般社団法人における『基金』—負債か、純資産（正味財産）か—」『會計』第183巻第2号、2013年2月、30～44ページ

「一般社団法人における『基金』の会計的性質」『商学論纂』（中央大学）第54巻第6号、2013年3月、29～55ページ

3 学会報告

「日本及び諸外国における非営利法人制度に関する研究—制度史・制度設計・報告制度・税制度等を中心にして—」（非営利法人研究学会東日本部会（部会長：岡村勝義））第17回非営利法人研究学会全国大会（近畿大学）、2013年9月22日

奥山 聡子（オクヤマ サトコ）

1 論文

“The Development of Border Economic Zones : The Economic Potentiality of Asia's Golden Triangle”、『商経論叢』第49巻1号、2013年9月、21-42頁

2 その他（新聞掲載）

「TPP から考える自由貿易体制の今後」神奈川新聞、2013年10月14日

兼子 良夫（カネコ ヨシオ）

1 研究報告

「地方道路財源の説得と価格代替税」日本説得交渉学会第6回全国大会（神奈川大学8号館）、2013年10月6日

「消費増税の説得に関する考察—複数税率とインボイス方式を中心として—」（鈴木那央樹氏と共著）日本説得交渉学会第6回全国大会（神奈川大学8号館）、2013年10月6日

「地方道路財源改革と地方税制」日本都市学会第61回全国大会（高松・サンポート高松534室）、2013年10月27日

2 公開講座

技術と経済—発達とリスク第3回「科学技術のリスクと経済成長」(かながわ大学生涯学習推進協議会共同公開講座)(神奈川大学16号館第2会議室)、2013年5月25日

3 講演

「アベノミクスの功罪」神奈川大学会計人会講演会(神奈川大学308会議室)、2013年7月12日

「地方税制改革の現状と課題」NPO プロネット研究会(山形・霞城セントラル高度情報会議室)、2013年11月15日

4 その他(エッセイなど)

「論壇—アベノミクスを考える—」『説得交渉学研究』vol. 5、pp. 67-69、日本説得交渉学会、2013年

「民主主義と地方財政制度」『神奈川新聞』経済面「Research」、2013年3月8日

五嶋 陽子(ゴトウ ヨウコ)

1 論文

「カルドア勧告とは何だったのか—企業・未分割家族・農業所得の観点」『商経論叢』第49巻第1号、2013年9月、pp. 49-62

2 学会発表

“Why Was Shoup Tax Reform Accepted?: Farmers’ Viewpoint”, the CJEB Seminar, Columbia University, February 26, 2013

「カルドア勧告とインドの税制改革」日本財政学会第70回大会(慶應義塾大学)、2013年10月5日

酒井 良清(サカイ ヨシキヨ)

1 その他

「金融緩和の効果」神奈川新聞、2013年5月20日

「財政赤字と経済成長」神奈川新聞、2013年6月17日

「マクロ経済学の行方」『三色旗』(4-9)、慶應義塾大学、2013年

「伝統的なマクロ経済学における金融政策の枠組み」『経済セミナー』12・1月号(30-35)、日本評論社、2013年

佐藤 孝治 (サトウ コウジ)

1 論文・その他

「被災地の復興の現状と課題—三陸沿岸・仮設住宅・ガレキ処理」『自治研月報・神奈川』第138号、2013年2月、1～16ページ

「東日本大震災の社会経済的な影響—南海トラフ巨大地震に備えて三陸沿岸の経験から学ぶこと」『大分合同新聞』、2013年9月28日朝刊

「三陸の経験に学んで巨大地震への備えを—東北と似た県の南部」『大分合同新聞』、2013年11月27日朝刊

2 講演

「被災地の復興の現状と課題」神奈川県地方自治研究センター・まちづくり研究会（横浜市、地域労働文化会館）、2013年1月17日

「事業継続計画とテレワーカー大規模災害時の危機管理と業務継続」テレワーク推進フォーラム調査普及部会（東京都、丸の内パシフィックセンチュリープレイス）、2013年1月31日

「Two Years after The Great East Japan Earthquake : Reality and Issues for the Future」カリフォルニア大学交通問題研究所（デービス校）、2013年3月4日

「東日本大震災の調査・支援から考える大学にとっての使命」（パネル討論問題提起）、神奈川大学特別講演会『東日本大震災から3年目を迎えて』（神奈川大学横浜キャンパス）、2013年6月15日

「東日本大震災の社会経済的な影響」徳島大学+美波町地域づくりセンター・防災まちづくり講演会（徳島県美波町、由岐支所）、2013年8月2日

「東日本大震災の社会経済的な影響—南海トラフ巨大地震に備えて三陸沿岸の経験から学ぶこと」大分政経懇話会講演会（大分合同新聞社）（大分県別府市、ホテル白菊、中津市、グランプラザホテル）、2013年9月26日&27日

「被災地復旧の現状と課題—震災遺構と死者の尊厳を考える」神奈川大学連続講演会『未曾有の歴史的地震活動期に入った21世紀日本?!』（神奈川大学横浜キャンパス）、2013年10月26日

「東日本大震災の被災地から学ぶ—三陸沿岸の調査を通して考える社会経済的な影響と地域社会の実態」連合神奈川講演会（横浜市、ワークピア）、2013年12月12日

佐藤 睦朗 (サトウ ムツオ)

1 論文

「スウェーデンにおける耕地制度と農業革命」『商経論叢』第48巻第3号、2013年3月、73～84頁

2 学会報告・コメント

- 「19世紀スウェーデンにおける農村社会」北欧文化協会3月例会（京橋プラザ区民館）、2013年3月22日
- 「スウェーデンにおける農業革命研究との比較」第82回社会経済史学全国大会パネル・ディスカッション②「イギリス農業革命の諸相」対論者報告（東京大学）、2013年6月2日
- 「スウェーデン農村史における世帯・家族に関する研究動向—「家計」をめぐる比較史の可能性—」科研費基盤B海外学術調査「家・家族・世帯の『家計』に関する日欧地域史の実証対比研究」研究会（愛媛大学サテライト・オフィス東京）、2013年11月30日

田中 弘（タナカ ヒロシ）

1 著書

- 『会計学はどこで道を間違えたのか』税務経理協会、2013年
- 『国際会計基準—世界の会計はどう変わるのか』（共著）税務経理協会、2013年
- 『税務会計の基礎』（共編著）税務経理協会、2013年
- 『最初に読む会計学入門』税務経理協会、2013年

2 論文

- 「学者の寿命—60歳限界説」『税経通信』、2013年1月
- 「伝統芸能と化した会計学」『税経通信』、2013年2月
- 「稼ぐ税理士になる方法—資格は取ってからが勝負！」『税経セミナー』、2013年2月
- 「日本の会計学は何を教えてきたのか」『税経通信』、2013年3月
- 「会計観の対立—損益法と財産法」『税経セミナー』、2013年3月
- 「ポイントプログラムの会計処理」（共）『商経論叢』第48巻第3号、神奈川大学、2013年3月
- 「学者稼業—『サラリーマン化』と『プライド』の狭間」『税経通信』、2013年4月
- 「世界の会計はどうなっているのか」『税経セミナー』、2013年4月
- 「放置されるIFRS不採用企業—ちらつく『強制適用』という幽霊」『金融財政ビジネス』（時事通信社）、2013年4月25日
- 「企業会計原則のスピリッツに戻る」『税経通信』、2013年5月
- 「会計に関する法規制と財務諸表の役割」『税経セミナー』、2013年5月
- 「企業会計審議会は何を議論してきたのか」『税経通信』、2013年6月
- 「トライアングル体制と確定決算主義」『税経セミナー』、2013年6月
- 「日本の産業界はどう反応してきたか」『税経通信』、2013年7月
- 「企業会計原則—その啓蒙的意義」『税経セミナー』、2013年7月
- 「IFRSの品質と日本基準の品質」『税経通信』、2013年8月
- 「IFRS財団が起こした波紋—だまし討ちを警戒する産業界」『金融財政ビジネス』（時事通信社）、2013年8月19日
- 「一般原則の解釈—通説的な理解とかずかずの疑問」『税経セミナー』、2013年8月
- 「IFRS財団のプレスリリースの波紋」『税経通信』、2013年9月

「一般原則の解釈—もう1つの解釈」『税経セミナー』、2013年9月
「低価法の本質と時価の選択に関する現代的解釈」（共）『商経論叢』第49巻第1号、神奈川
大学、2013年9月
「だまし討ちを警戒する産業界」『税経通信』、2013年10月
「モニタリング・ボードの秘密」『税経通信』、2013年11月
「日本版 IFRS 構想の背景と行方」『地銀協月報』、2013年11月
「IFRS 財団の資金」『税経通信』、2013年12月

3 講演・研究報告・その他

「知られざる会計戦争—狙われる日本の富」宮陵会横浜北支部、2013年1月19日
「不正会計の予防と早期発見の勘所」産業経理協会、2013年2月28日
「経理業務を取り巻く環境の変化と今後について考える」TKC フォーラム2013年2月、東
京、大阪、名古屋
「企業内不正の予防と早期発見」湘南信用金庫湘南信和会、2013年9月11日
「税理士の社会的存在意義と新しい税理士像」東海税理士会、2013年9月25、26、27日
「経営分析の基本的技法とその活用—わが社と取引先の健康診断」産業経理協会、2013年10
月24日
「企業内不正予防と早期発見の勘所」産業経理協会、2013年12月18日
「IFRS をめぐる最新動向と日本の会計制度の行方—『当面の方針』の読み方と強制適用の可
能性—」産業経理協会会社経理分科会、2013年12月19日
「日本版 IFRS 構想の背景と行方—『だまし討ち』を警戒する産業界」国際会計研究会、2013
年12月14日
神奈川大学中小企業経営経理研究所所長
ホッカンホールディングス株式会社独立委員会委員
日本生命保険相互会社社友
英国国立ウェールズ大学大学院（MBA コース東京校）教授

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 著書

『税務会計の基礎』税務経理協会、2013年11月（共著）
『国際会計基準 世界の会計はどう変わるのか』税務経理協会、2013年7月（共著）

2 論文

「農業発展に向けた簿記の役割—日本の農業者のモデル別分析と提言」『會計』第184巻第5
号、2013年11月、57-70頁（単著）
「地域振興のための簿記の役割（13）—6次産業体（モデル4）に対するヒアリング調査を
中心に—」『商経論叢』第49巻第1号、2013年9月、75-85頁（共著）
「地域振興のための簿記の役割（12）—農業法人（モデル3）に対するヒアリング調査を中
心に—」『商経論叢』第49巻第1号、2013年9月、63-73頁（共著）

- 「第28回全国大会・簿記実務研究部会（最終報告）：地域振興のための簿記の役割—農業・地場産業を対象として—」『日本簿記学会年報』第28号、2013年7月、13-18頁（代表執筆）
- 「地域振興のための簿記の役割（11）—自立志向を有する農家（モデル2）に対するヒアリング調査を中心に—」『商経論叢』第48巻第4号、2013年6月、173-188頁（共著）
- 「地域振興のための簿記の役割（10）—従来の農業簿記の理論的問題点を中心に—」『商経論叢』第48巻第4号、2013年6月、157-171頁（単著）
- 「地域振興のための簿記の役割（9）—記録へのインセンティブを奪うもの—」『商経論叢』第48巻第3号、2013年3月、107-119頁（単著）

3 その他（講演他）

- 講演論題：「地域振興のための簿記の役割—農業・地場産業を対象として—」静岡県立大学、経営情報学部棟4111講義教室、2013年1月24日
- 研究会発表論題：「農業発展に向けた簿記の役割—日本の農業者のモデル別分析と提言」神奈川大学中小企業経営経理研究所公開研究会、神大23号館310教室、2013年11月23日
- 研究会発表論題：「農業発展のための簿記の役割—日本の農業者のモデル別分析と提言」会計学サマーセミナー in 九州、九州大学西新プラザ、2013年8月9日
- 『会計史学会年報』投稿論文査読

外木 好美（とのぎ このみ）

1 論文

- 「数値解析による最適投資行動の比較」『商経論叢（神奈川大学）』第48巻第4号、2013年6月
- 「設備投資研究の展開と Multiple q」一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series A No. 584、2013年4月（中村純一氏、浅子和美氏との共著）

2 学会発表

- 「資本ストックの異質性—因子分析による検証」2013年度日本経済学会・秋季大会（神奈川大学）、2013年9月（中村純一氏、浅子和美氏との共著）
- “Heterogeneity of Capital Stocks : Classification by Factor Analysis,” The 4th Asia-Pacific Innovation Conference (College of Law, National Taiwan University), Dec-2013 (with Jun-ichi Nakamura and Kazumi Asako)

3 セミナー報告

- 「資本ストックの異質性—因子分析による検証」データ解析研究会（神奈川大学）、（中村純一氏、浅子和美氏との共著）、2013年5月

西村 陽一郎（ニシムラ ヨウイチロウ）

1 論文

- 「我が国出願人における日本への特許出願件数と外国への特許出願件数の関係分析」『我が国における産業財産権の出願行動等に起因する経済成長に関する分析調査報告書』、pp. 3-24、2013年 3 月
- 「知的財産権と資金調達優位性に関する統計学的分析」『我が国における産業財産権の出願行動等に起因する経済成長に関する分析調査報告書』、pp. 186-206、2013年 3 月

2 学会報告

- “Product Life-cycle and Patent Life-cycle” IIPR Workshop, Kanagawa University, 2013.02.23.
- “Product Life-cycle and Patent Life-cycle” Reunion Workshop, Hosei University, 2013.03.08.
- “Invention Life-cycle and Patent Life-cycle” データ研究会、Kanagawa University, 2013.08.06.
- 「知的財産権と資金調達優位性との関係性分析」日本知財学会、青山学院大学、2013年11月 30日
- “Debt Financing and IPRs” IIPR Workshop, NISTEP & GRIPS, 2013.12.03.
- “Patent Life-cycle and Invention Life-cycle : Evidence from Patent Utilization Survey for Japanese Firms” Asian Innovation Network Conference, National Taiwan University, 2013.12.07.

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

- 「松方デフレ期東京の中小両替商—中村両替店の資料分析—」『商経論叢』第48巻 3 号、2013 年 3 月、53-71頁

2 その他

- 『図説金沢の歴史』金沢市、2013年 3 月、分担執筆
- 辞典項目執筆、『明治時代史大辞典』第 3 巻、吉川弘文館、2013年 1 月、「八田達也」ほか 4 項目

3 学会・公開研究会報告

- 「巨大製糸経営小口組の発展と展開：1903-1931—『匿名組合』の本支店経営—」経営史学会 全国大会（龍谷大学）、2013年10月26日
- 「歴博所蔵、金沢地方近代生活資料—資料の来歴を調べる—」人間文化研究機構連携研究「近現代における生活と産業変化に関する資料論的研究」公開研究会「博物館における地方資料の収集と活用」（石川県政記念しいのき迎賓館）、2013年12月 1 日

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 学会・研究会報告

Munenori Mishima et al, “On the Problems of Job-Hunting Activity in Japan”, *The 5th Korea and Japan Business Research Seminar*, Seoul, Korea, Myongji University, March, 2013

「マズロー理論の基本的特質に関する覚書—マレー理論との比較において—」（河野昭三との共同発表）九州心理学会第74回大会（琉球大学）、2013年11月

2 辞典項目

「自己実現」 金森久雄・荒憲治郎・森口親司編『経済辞典 [第5版]』有斐閣、2013年12月

3 その他

「论马斯洛“自我实现”概念的内涵—以概念的嬗变为中心」（单著）『日本研究』、第142期、2013年3月、40-43頁

「Maslow 学説における Blackfoot 調査の意義」（河野昭三との共著）『九州心理学会 第73回大会発表論文集』、2013年3月、14頁

「マズロー理論の基本的特質に関する覚書—マレー理論との比較において—」（河野昭三との共著）『九州心理学会 第74回大会プログラム』、2013年10月、31頁

森泉 陽子（モリイズミ ヨウコ）

1 論文

Moriizumi, Y., Tiwari, P. and Yukutake, N. (forthcoming, 2014) “Smoothing consumption fluctuations through household decisions on home improvement expenditure in Japan,” *International Journal of Housing Markets and Analysis*, Vol.7, pp.76-97. 査読有

Naoi, M., Moriizumi, Y. and Yukutake, N. (2013) “Income Risk and Mortgage Choice among Japanese Households,” SSRN working paper series, 2211396. 査読無

2 学会活動

応用地域学会第27回研究発表大会「空間設計」座長（京都大学）、2013年12月14日

ハッ橋 治郎（ヤツハシ ジロウ）

1 論文

「マーケティングとロジスティクスの接点」『商経論叢（神奈川大学経済学会）』第48巻第4号、2013年6月、pp.117-129

2 その他

「SCMと物流」『神奈川新聞』、2013年2月11日号

山口 拓美（ヤマグチ タクミ）

1 著書

『利用と搾取の経済倫理—エクスプロイテーション概念の研究—』白桃書房、2013年3月

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 著書

「グローバル・イノベーション戦略」『国際ビジネス入門（第2版）』所収、中央経済社、2013年4月

“Some issues on collaborative innovation for new growth of Japanese MNCs : on organizational transformation and human resource development,” (joint paper) in John D.Daniels, Tsai-Mei Lin, Ray Loveridge & Alan M.Rugman (eds.) *Multinational Enterprises and the Changing World Economy*, Academy of Performance Measurement, pp.185-214, April, 2013.

2 翻訳書（分担翻訳）

ジェフリー・ジョーンズ『多国籍企業の変革と伝統 ユニリーバの再生（1965-2005年）』文眞堂、2013年5月

3 論文

「多国籍企業における外部環境との関係性のマネジメント—国際化プロセスモデルと埋め込みアプローチの研究視角を中心にして—」『経済貿易研究』第39号、2013年3月

4 その他

「総合商社の企業風土から学ぶ「ある種の楽観主義」」世界経済評論 IMPACT、2013年11月4日

「知識共有・移転から多国籍企業を見る」『神奈川新聞』、2013年12月2日

山本 通（ヤマモト トオル）

1 その他

「ゼミナールの勧め」『学問への誘い：大学で何を学ぶか』神奈川大学広報委員会、2013年2月、99～103頁

「名著を読む：フランクリン『自伝』」『一橋大学基督教青年会会報』60号、2013年12月、36～46頁

「私の本棚：山浦玄嗣『イエスの言葉』』『一橋大学基督教青年会会報』60号、2013年12月、47～50頁

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

1 書評

「川邊信雄著 タイトヨタの経営史—海外子会社の自立と途上国産業の自立—」『アジア市場経済学会年報』pp.101-105、第16号、2013年8月

2 研究発表

日本タイ学会チェンマイ大学共催国際シンポジウム“Thai Studies through the East Wind”での研究発表、於タイ国チェンマイ市フラマチェンマイホテル、2013年8月25日

横川 和穂（よこがわ かずほ）

1 著書

『ロシア近代化の政治経済学』（共著）文理閣、2013年4月（序章・第5章執筆、第6章翻訳担当）

2 学会・研究会報告

「ロシアにおける地方財政構造の特徴」比較経済体制研究会（岐阜大学）、2013年3月6日
“Public finance and local community in Russia after transition”, *The 5th Asia Economic Community Forum*, Hyatt Regency Incheon, Korea, Session 9: Social Perspective beyond Transition, 1 November, 2013